

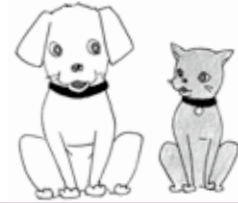
安全で住みよい  
まちづくり

# 防災への意識改革

Vol.313

## 災害は、突然やってくる そのとき、あなたとペットは大丈夫？

過去の災害では、飼い主とはぐれたり、自宅に置き去りにされたりした結果、命を落としたペットがいます。ペットの命を守ることができるのは、飼い主しかいません。一緒に避難できるように日ごろから準備をすることが大切です。



いざというときのために準備してね

### 避難時にペットのために必要なものの例

- ▽ 餌・水(少なくとも5日分)、食器
- ▽ ケージ(キャリーバッグ)、リード
- ▽ トイレ用品
- ▽ 薬
- ▽ 情報(予防接種、投薬、かかりつけの動物病院など)



※ 迷子対策として、飼い主の連絡先などを首輪に付けたり、ペットの写真を携帯電話に保存したりすることも効果的です。

※ ペット用品は、飼い主が用意する必要があります。

▲ ペットも家族の一員

### ■ 自宅の防災対策

飼い主が無事でなければ、ペットを守ることができません。自宅を災害に強くすることが、ペットの安全につながります。耐震補強や家具の転倒・ガラス飛散の防止に加え、ケージの転倒・落下防止など、ペットが普段いる場所の安全を確保してください。

### ■ しつけと健康管理

避難所は、多くの方が共同で生活する空間です。避難者の中には動物が苦手な方、アレルギーを持っている方もいます。ペットは、飼い主にとって不自由な避難生活の安らぎになる一方、鳴き声がうるさいなどのトラブルにつながる可能性もあります。ペットは、避難者が生活する部屋と別の場所で飼育することが原則です。

避難生活は、ペットにとっても大きなストレスです。普段から不要に鳴かないようにしつけ、ケージなどに慣らしてください。また、シャンプーやトリミングで体を清潔に保ち、予防接種などで病気や感染症に備えてください。



ケージの中でも良い子にできるよ

**防災行政無線情報は電話でも**

防災行政無線が聞き取りにくい場合は、**(48)7030**で確認してください。最新のメッセージを聞くことができます。

防災交通課防災係 **(48) 1111** (内1209)

